

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市あおぞらホーム
2	指定管理者	社会福祉法人 なのはな会
3	指定期間	平成30年4月1日から令和3年3月31日まで（3年間）
4	施設の利用状況	《利用者数》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 4,902人（昨年度比108%）</li> <li>・平成29年度 4,551人（昨年度比110%）</li> <li>・平成28年度 4,131人（昨年度比 78%）</li> </ul>
		《事業》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援事業</li> </ul>
5	収支の状況	《費用》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者に支払った費用 29,329千円 (35,293千円)</li> <li>・その他市が負担した費用 3,074千円 ( 626千円)</li> </ul>
		《収入》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用料収入 57,443千円 (34,118千円)</li> <li>・その他収入 0千円 ( 0千円)</li> </ul>
6	利用者の声	《実施状況》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年2月、指定管理者の協力のもと障害者支援課で利用者アンケートを実施した。</li> </ul>

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設置目的に沿った事業計画が作成されており、事業者・職員も設置目的を適切に理解し、施設運営に当たっている。 利用者個々の発達に寄り添った支援を行うため、障害特性を理解し、それぞれに適した療育を行っている。	42/42
II	施設の運営管理体制	施設の運営管理については、事業計画に基づいた運営がなされている。 経理書類の作成及び通帳印鑑の管理についても適正に行われている。	24/24
III	施設・設備の維持管理	廊下に空調設備がなく、冬は室内との寒暖の差が激しいため、保護者より不満の声があがっているものの、清掃・衛生管理・施設の保守点検は適切に行われており、利用者が快適に利用できる環境整備に努めている。	24/24
IV	サービスの質の向上	サービス水準を確保するため、職員会議・研修等により人材育成を図るとともに情報共有に努め職員全体でのサービス向上を目指している。 利用者が利用しやすい環境を整えるため、相談に適切に対応できる体制を整えている。	27/27
V	施設固有の基準	個別支援計画を詳細に作成し、課題と取組み・振り返り評価を行い利用者個々の発達に寄り添った支援を行っている。 指定児童発達支援事業所としての基準を遵守しながら利用者処遇の向上に努めている。	4/4

### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 75%; text-align: center;">加点評価</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>		加点評価	—
加点評価	—		

### 四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人なのはな会）による自己評価》	
<p>今年度から、児童発達支援センターとなった。4月に在籍児24名でスタートし、8月に7名・10月に1名加わり在籍児32名となった。年齢は1歳半～5歳と年齢幅があったが、年齢別ではなく発達に合わせた子ども集団を考え、クラス編成を行った。</p> <p>発達支援では、年に2回個別支援計画を作成し、子ども一人一人の発達や年齢に合わせた療育を行った。早期からの受け入れを行うことで、子ども一人一人の発達課題を明確にし、療育を行うことにより地域の保育所や幼稚園への入園も増えた。</p> <p>家族支援では、個々の家族に合わせて随時面談や家庭訪問を行い、また預かり保育を行うことで、家族にとって安心して子育てができる支援に繋がったと感じている。また、家族を支えられるように外部の関係機関と連携しながら取り組んだ。</p> <p>地域支援では、児童発達支援センターに移行し地域支援コーディネーターが配置され、地域の保育所や幼稚園、区役所の保健師など外部の関係機関との交流が深まったことで、乳幼児健診から本園へ早期に繋がるケースが増えてきたことは大きい。</p> <p>児童発達支援センターが11か所確立されたことで、発達に弱さ不安があっても地域の中で安心して子育てができる第一歩に繋がったと感じる。今後も、発達支援を中心に地域で求められている役割を考え、関係機関とのつながりをより深めていきたいと思う。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>当該年度よりセンター化し、地域支援については、今後更なる関係機関との連携の強化が期待される。</p> <p>児童の発達に合わせた丁寧な支援を行っているほか、進路指導、保護者勉強会の開催など、児童だけではなく家族を含めての利用者処遇の向上に努めている。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課